

良いマニュアルとは？ (2)

2007.5.8

マニュアルライティング (2007 年度)

本日の内容

- 前回のフィードバック
- レポート講評
- 実例をベースに、良いマニュアルを考える

連絡事項

- 教室変更
- レポート提出

作業課題フィードバック (1/3)

イラストのみのマニュアルのメリット

- 翻訳が不要
- 直感的に理解できる
- 年齢に依存しない
- 楽しさを訴求できる

作業課題フィードバック (2/3)

イラストのみのマニュアルのデメリット

- ユーザーの理解力に左右される
- 「程度の表現」が難しい (例：力の入れ具合)
- 例外時など、条件分岐の説明が難しい
- 複雑な製品・操作の説明が難しい

作業課題フィードバック (3/3)

イラストのみのマニュアルのデメリット (つづき)

- トラブルシューティングが作りにくい
- 正しい操作をしているのか確信が持てない
- わからなくなった場合のフォローが難しい

レポート講評 [全般] (1/3)

レポート課題の要件

- IXY DIGITAL 900 IS のマニュアルを評価する
- 「良いマニュアルとは？」の条件を踏まえて、良い点と悪い点を3点ずつ挙げて、理由を説明する
- 悪い点については、どのようにすれば良くなるのかも書く（対案を提示する）
- 「メーカーの担当者に評価報告書を提出する」つもりで書く

レポート講評 [全般] (2/3)

全体的な傾向

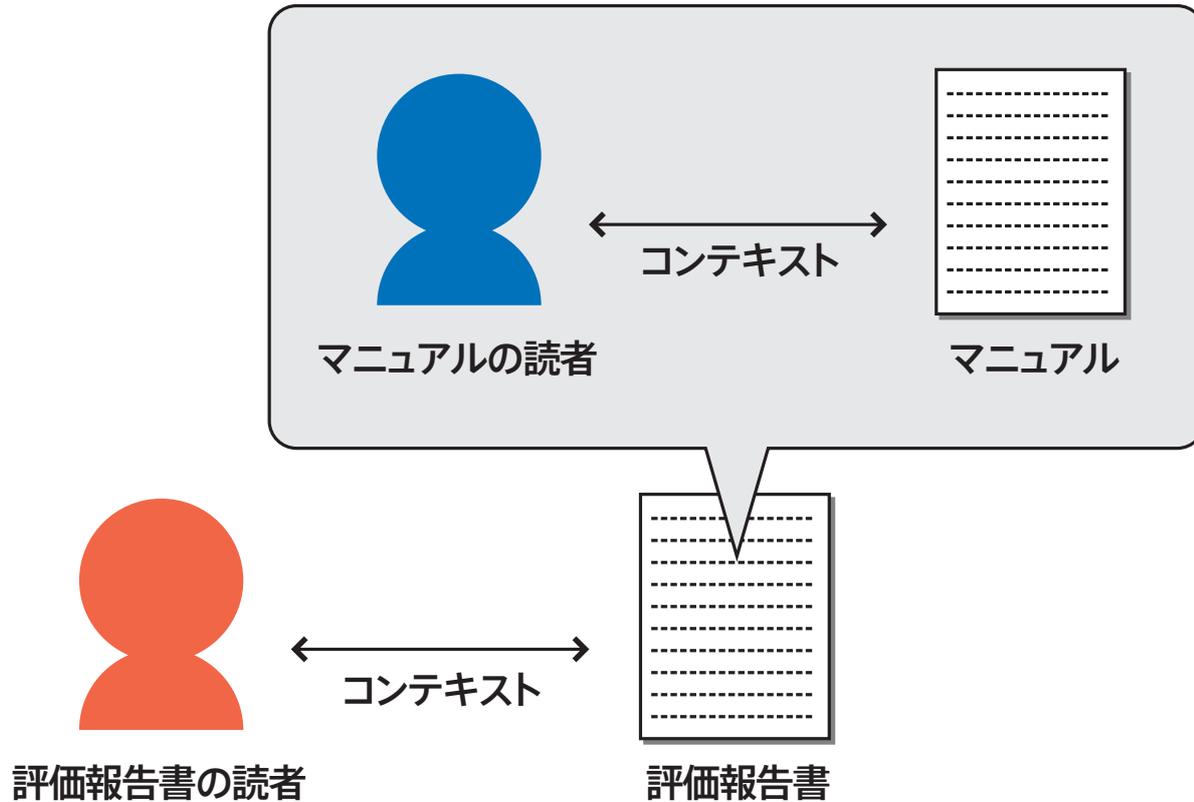
- この製品の想定ユーザーは誰か？という観点が欠落している
- 感想文が多い（説得力の不足）
- レイアウトに配慮していない
- 「堅い」文章作成力の不足

レポート講評 [全般] (3/3)

レポート評価のポイント

- 評価の前提を明示しているか
- 着眼点
- 読み手を納得させる努力（説得力）
- 情報の構造化
- 視覚表現

レポート講評 [評価の前提] (1/2)



レポート講評 [評価の前提] (2/2)

- 市場の状況
- 当該製品の市場におけるポジショニング
- 誰が読むのか？
- どんなとき（いつ？なぜ？）に読むのか？
→ 閲覧コンテキストの洞察が不可欠
- どのような基準で評価するのか

レポート講評 [説得力]

- 「感じた」「思った」は感想文なので禁止
- 敬体ではなく常体で
- 具体例を提示する（例：〇〇ページの××が～）
- 表面的な事象に拘泥しない
→背景原因を考えた上での対案提示
- 情報をポイントごとに整理する
→情報の構造化

レポート講評 [構造化]

- 論文ではないので、無用な長文構成は避ける
→斜め読みでも概要を把握できるように
- 見出しタイトルと内容をセットで考える
- 箇条書きを意識する

レポート講評 [視覚表現]

- 見出しを明確に
- 情報の構造を表現する
- 基本的なレイアウトルール
- ノンブルを付ける
- 行頭一字下げと箇条書き
- 明朝系の Bold 書体

レポート講評 [実例] (1/4)

<1.工夫が見られる点>

①基本編と応用編に分けている

網羅的に情報を提示しなければならないマニュアルは、
である。しかし、基本編と応用編という二つのマニュアルを
る。基本的な操作方法のみ知りたいユーザや、電子機器に
できないユーザにとって、マニュアルを読むことに対する抵抗
この工夫によって、マニュアルのわかりやすさや取り扱い

レポート講評 [実例] (2/4)

①基本編、応用編に分かれている。↵

マニュアル本体については基本編、応用編に分かれていることが評価できると感じます。↵
一冊のマニュアル内で基本編、応用編に分かれていることは多いですが、両方を1つのマニュアルにまとめるとページ数が増えて特定の記事を探すのが困難になります。その他にも「分厚いマニュアル」というのはユーザーのやる気を失せさせる結果になります。特にコンパクト機である IXY-900IS は主なターゲット層が初級～中級レベルの人になるので「とりあえず撮影できればよい」というニーズを考えなければなりません。こういった初級～中がメインとなる商品のマニュアルは、傾向として機能の詳細説明が明記されているマニュアルの他に「初級者用マニュアル（カラー、文字が大きい、薄い等の特徴がある）」がついてくる場合が多くなってきています。（先日購入した AU の携帯電話 W44K の場合もやはり初級者用マニュアルが付属していました）↵

レポート講評 [実例] (3/4)

撮影 / 再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニュー

撮影 / 再生 / 印刷時の便利な機能を設定します。

① MENU ボタンを押す

② -/ ボタンでメニューを切り換える
-ズームレバーでもメニューの切り換えができます。

③ / ボタンでメニュー項目を選ぶ
-撮影モードによって、表示されるメニュー項目が異なります。

④ / ボタンで設定内容を選ぶ
「...」のある項目では、FUNC./SET ボタンを押して次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度 FUNC./SET ボタンを押して設定内容を確定します。

⑤ MENU ボタンを押す

■ 表示例: メニュー画面 (p.23)

メニューの表示と設定のしかた

改善前(図 5-1)

撮影 / 再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニュー

撮影 / 再生 / 印刷時の便利な機能を設定します。

① MENU ボタンを押す

② +/- ボタンでメニューを切り換える
-ズームレバーでもメニューの切り換えができます。

③ +/- ボタンでメニュー項目を選ぶ
-撮影モードによって、表示されるメニュー項目が異なります。

④ +/- ボタンで設定内容を選ぶ
「...」のある項目では、FUNC./SET ボタンを押して次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度 FUNC./SET ボタンを押して設定内容を確定します。

⑤ MENU ボタンを押す

■ 表示例: メニュー画面 (p.23)

メニューの表示と設定のしかた

改善案(図 5-2)

レポート講評 [実例] (4/4)

●説明書の全体的評価

わかりやすい	○
探しやすい	△
取り扱いやすい	×
役に立つ	○
正確である	○
魅力的である	△
ユーザー保護に配慮している	×

レポート講評 [まとめ]

- 前提を置く
 - 閲覧コンテキスト / 評価の基準など
- 相手に納得してもらうにはどうするか? を考える
 - 感想ではなく、理由に基づいた主張
 - 論点の明確化
 - 具体例の提示
- 読み手に配慮する
- 報告書の事例

作業課題

分冊？合冊？

- レポートの評価対象のマニュアルが基本編と応用編に分冊されていることについて
- 分冊に賛成？反対？およびその理由も書く
- どのような条件であれば、賛成・反対が逆になるか？も書く